

ACTROS・SK

車輪脱落防止のための正しい取扱いについて

車輪は走行上とても重要な部品です。

安全確保するために、日常点検整備・定期点検整備を確実にを行い、正しい取扱いをお願いします。

定期点検整備上の注意ポイント

- 1 スチールホイールとアルミホイール用のホイールナットを間違えたり、混在しないで下さい。正しく取り付けます。
- 2 ホイールボルト・ナットは、締付け順序にしたがい、必ず規定のトルクで確実に締め付けます。
- 3 ホイールボルトが一本でも折損した場合は同ホイールハブの全てのホイールボルトを同時に交換します。
- 4 ホイールボルト・ナット付近に錆汁が出た痕跡のある場合は交換します。

日常点検整備時の注意事項

- 1 目視での点検
 - ホイールナットの脱落、ホイールボルトの折損等の異常がないか。
 - ホイールナット・ボルト付近に錆汁が出た痕跡がないか。
 - ホイールナットからのホイールボルトの突出量が均一か。
 - アルミホイール用ホイールナットとスチールホイール用ホイールナットとが誤使用されていないか。
- 2 点検ハンマー等を使用してホイールボルトの折損やホイールナットの緩み等がないか点検します。

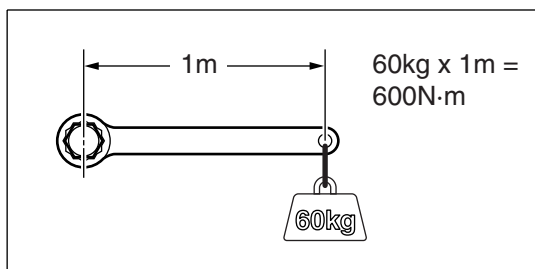
定期点検整備時の注意事項

3ヶ月定期点検時（日常点検 + ホイールナットの緩み点検）

- 1 ホイールナットの緩み点検
 - ホイールナットが規定のトルクで締め付けられていることを確認します。
最初に一旦緩め、その後規定トルクで確実に締め直します。

| | | |
|---------|----------------------------|--------|
| 締め付けトルク | アルミ製ホイールディスク | 600N・m |
| | スチール製ブレッシャプレート付きホイールディスク | 600N・m |
| | スチール製球面スプリングワッシャ付きホイールディスク | 450N・m |

- 締め付けトルク 600N・m の目安



12ヶ月定期点検時（3ヶ月点検 + ホイールディスク、ボルト、ナット、ハブ点検）

- 1 ホイールディスクの点検
 - ボルト穴や飾り穴のまわりに亀裂や損傷がないか。
 - ホイールナットの当り面に亀裂や損傷、へたりのないか。
 - 溶接部分に亀裂や損傷がないか。
 - ハブへの取り付け面とホイール合わせ面の摩耗や損傷、凹凸がないか。
- 2 ホイールボルト、ナットの点検
 - ボルトやナットの亀裂や損傷がないか。
 - ボルトが伸びていないか、著しい錆の発生がないか。
 - ネジ部につぶれややせ、かじりがないか。
- 3 ハブの点検
 - ホイールディスクの取付け面に著しい摩耗や損傷、凹凸がないか。

ホイールボルト交換(ホイール取付け)時の注意事項

- 1 ホイールボルト折損による交換時には、同ホイールハブの全てのホイールボルトを同時に交換します。
- 2 ホイールハブからボルトを外す際は、ホイールボルトに対し垂直に叩き出します。
- 3 新品ホイールボルトはボルトヘッド切り欠けとホイールハブ段差を合わせてバンププライヤ等で固定し、ホイールナット等を使用して締め付け、引き出すことで挿入させます。(ハンマー等で叩き込まないで下さい)
- 4 ホイールボルトが完全に入りきったら、一度 300N・m で締め付け、ホイールボルトヘッドとホイールハブ間に隙間が無いことを確認します。
- 5 ホイール装着の前にホイールハブの接触面、ホイールボルト、ナットを点検し、汚れや錆を取り除くか新品と交換します。
- 6 ワッシャ付きホイールナットでは、ワッシャとナットの間の接触面に軽くグリースを塗布します。
- 7 ホイールボルト・ナットのネジ山には、グリースやオイルが付着しないように注意します。
- 8 ホイールナットを締め付ける際は、ホイールに負荷がかからない状態で行います。
- 9 ホイールナットの締め付けは対角線上に行い、最終的に必ずトルクレンチを使用し 600N・m で締め付けます。
- 10 交換したホイールのホイールナットの場合は、約 50km 走行を行った後に、再度規定トルクで締め付け直します。
- 11 新品あるいは、塗装し直したホイールを使用する場合、ホイールナットは 1000 ~ 5000km 走行後に再度規定トルクで締め付け直します。

アルミホイール、スチールホイールの履き替えについて

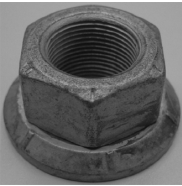
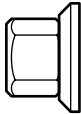


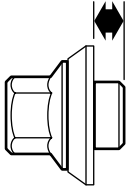


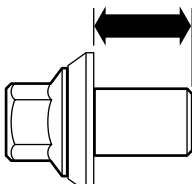

- 1 ホイールは MB 純正品を使用して下さい。
- 2 スチールホイール、アルミホイールはそれぞれ専用のホイールナットが必要となります。
- 3 それぞれのホイールナットを混用すると、長さや形状が異なるため、ネジの底つきや噛み合い不足によって、締め付け力が十分得られず、ホイールボルトの折損やホイールディスク破損の原因となります。
- 4 交換するホイールによってはホイールナットの交換に加え、ホイールボルトの交換が必要になる場合があります。当社指定サービス工場で行うホイール交換の際は、ホイールボルトの確認を行って下さい。

アルミホイール、スチールホイールへの変更内容

| ホイールディスク | スチールからアルミに履き替え | アルミからスチールへ履き替え |
|------------|----------------|----------------|
| フロント | アルミ用のナットに交換(※) | スチール用の専用ナットに交換 |
| リヤ(ダブルタイヤ) | アルミ用のナットに交換(※) | スチール用の専用ナットに交換 |

※：交換するホイールによってはホイールボルトの交換が必要になる場合がありますので、部品互換情報をご確認ください。

各ホイールナットの形状

| | | | |
|-----------|--|---|---|
| スチール専用 |  |  |  |
| アルミホイール専用 | シングルタイヤ  |  |  |
| | ダブルタイヤ  |  |  |